

環境かわら版

ごみゼロ
いちのみや530作戦実施中

No. 41 (2011年8月1日 発行)

省エネライフのために

ムリなく、ムダなく

東日本大震災で、福島第一原子力発電所の損傷により電力供給停止となり、この地方も中部電力浜岡原発の全面停止が決定して、今年の夏の電力不足が懸念されています。

家事でも省エネ

生活の知恵をフル活用

いま「私たち一人ひとりができること」を実践するために、節電を心掛けて地球にやさしい省エネライフを始めませんか？

まずは節電

待機電力から

使っていない電気製品は、まずコンセントを抜くか、電源を切りましょう。プラグをコンセントに繋いだまましていると、電流が流れ、待機電力を消費します。待機電力は家庭の消費



冷蔵庫の設定温度は適温(中〜低)に設定し、温度を低くしすぎないようにしましょう。洗濯は回数を減らせるように、できるだけまとめて洗いましょう。

電子レンジで温め直した方が省エネです。

こんな時だから

家族で協力

家族はできるだけ、同じ場所・同じ部屋で過ごしましょう。冷房の節約や照明も最低限に抑えられます。お風呂も家族で続けて入れば、多くのエネルギーを消費する湯沸し・追い炊きなどが避けられます。

公共交通機関や

自転車の活用

移動の際に自家用車を使わず、公共交通機関を利用すれば、節約できた分のガソリンを被災地に回すことができます。

通勤・通学でもできるだけ公共交通機関を利用しましょう。買い物なども、できるだけ徒歩や自転車を利用しましょう。

< 回 覧 >

* 裏面もお読みください。

省エネライフを始めるために

まだ他にもできることがあります。おおげさなことではありません。家族で自分たちの行動を振り返り、できることからチャレンジしてみませんか？

● エアコンの設定温度を適正にする。

- ・夏の冷房は、28度
- ・冬の暖房は、20度

● エアコンや掃除機のフィルターは、こまめに掃除する。

● 冷蔵庫の中には空間を設け、詰め込みすぎないようにする。扉の開け閉めは、最小限にする。

● 洗顔・洗髪・歯磨きなどの時は、水や湯を出しっぱなしにしない。

● 夏は、トイレの便座の暖房使用は控える。

● 普段の調子で、何となくテレビをつけておくのをやめる。

エネルギー効率のよい電気製品を

電球の買い換えの際には、LED電球や電球型蛍光灯を選びましょう。

また、エコタップを使えば、簡単に待機電力の消費を防ぐことができます。

節約や健康のために

無駄を省く節電は、家計の支出の節約に、また、自家用車の代わりに自転車を使うなどの省エネは、健康のためにもなります。

さらに、こうした行動が被災地への支援にもつながります。



第2回”いちのみや緑のカーテンコンテスト”

● 「緑のカーテン」とは、アサガオやゴーヤなど、つる性の植物を育て、窓辺や壁面にカーテンを作ることで、夏の日差しを和らげ、室内の温度上昇を抑えることができる自然のカーテンのことです。

● 市では、「緑のカーテン」を広く普及させることで、多くの方に地球温暖化対策に取り組んで頂くためのきっかけ作りと環境教育の一環として、昨年度から「緑のカーテンコンテスト」を始めました。

● 今年度は、取り組みの輪がさらに広まるよう、住宅だけでなく事業所に設置してある「緑のカーテン」も対象にして募集します。

皆さんの家庭・事業所も「緑のカーテンコンテスト」に応募してみませんか。

〈対象〉

市内の住宅・事業所などの建物に設置した「緑のカーテン」。



昨年の受賞者の皆さん

〈応募方法〉

応募用紙に必要事項を記入・写真を添付の上、持参・メール又は郵送。

(応募用紙は市ホームページからダウンロード可能。)

〈応募締め切り〉

平成23年9月12日(月)必着。

〈表彰〉

入賞者には賞品・賞状を贈呈。

〈応募先〉

応募用紙の送付先・問い合わせは、下記事務局まで。

問い合わせ：一宮市環境基本計画推進協議会事務局（環境保全課内）